

令和5年度大阪府子ども読書活動推進事業計画

(1) 令和4年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議
<p>○令和4年度は「えほんのひろば」をはじめ、令和3年度に中止していたイベントの一部を再開することができ、7つの重点的な施策に掲げる具体的な方策に沿った事業を概ね実施することができた。</p> <p>○一方で、高齢者のボランティアに協力いただくイベントは再開を見送った他、図書館で子どもの来館者が減少している等、新型コロナウイルスの影響が残っている。いかにしてイベントの再開や来館者数等をコロナ前の水準に戻すかが課題。</p> <p>○「多言語読書活動推進事業」として、市町村・NPO法人と協働のうえ、「多言語えほんのひろば」をショッピングモールや公共施設で実施。ショッピングモールでは来場者が多かったものの、公共施設においてはショッピングモールと比べて来場者が伸びず、集客が課題。より効果的な周知方法の検討が必要。</p>	<p>○ボランティアと連携しながら事業を進めてもらいたいが、各地で福祉系と教育系のボランティアが分かれている状況が見られる。これらをうまく繋げるなど、福祉と教育の連携が必要。</p> <p>○多言語えほんのひろばについては、ショッピングモールでは盛況であったと感じる。今後もぜひ取り組んでいただきたい。また、外国人の方に様々な社会教育活動を伝える場として、多言語絵本のセットを多文化共生という観点で使うということも考えられる。</p> <p>○GIGAスクール構想によって1人1台パソコンを持つようになり、学校によっては家に毎日パソコンを持って帰って使うよう指導されていることから、確実に読書量が減少している。インターネットやタブレットで得る情報は単なる情報である。これと比べてポップコンクールやビブリオバトルのような取組みは、一部の本が好きな子どもにとってはワクワクするような本に出合えるので良いが、全体には広まっていない。本を普段読まない子どもを含め、全体的に本を読ませるにはどのようにすれば良いのかが課題。</p>

(2) 令和5年度事業実施計画のポイント

1	本を普段読まない子どもも含め、すべての子どもが本に出合えるような環境の設定
2	多言語読書活動推進事業の充実

(3) 令和5年度事業実施計画 具体的な取組

A		B		C	D	E	F	G	
重点的な施策		具体的方策		第1回社会教育委員会議	子ども読書活動推進会議			第2回社会教育委員会議	
		発達段階	主な内容	令和5年度 事業実施計画	実績	成果・課題（自己分析）	改善	ご意見	
1	読書活動普及・啓発	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えほんのひろば</li> <li>・おはなし会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設等でえほんのひろばを開催（多言語えほんのひろばを含む）</li> <li>・市町村・学校等へのえほんのひろばセットを貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設等でえほんのひろばを開催（多言語を含む）</li> <li>・市町村・学校等へのえほんのひろばセットを貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設等でえほんのひろばを開催（多言語を含む）</li> <li>1 6/25（共催：泉佐野市 於：いごらもーる泉佐野）186人</li> <li>2 9/30（※多言語 共催：熊取町 於：熊取町立熊取図書館）112人</li> <li>3 11/19（※多言語 共催：河内長野市 於：河内長野市立図書館）143人</li> <li>4 12/9（※多言語 共催：寝屋川市 於：寝屋川市立市民ギャラリー）40人</li> <li>5 1/28（予定 共催：藤井寺市 於：イオン藤井寺ショッピングセンター）</li> <li>団体へのえほんのひろば貸出（11月末時点 5件）</li> <li>・乳幼児向けおはなし会「たんぼぼ」再開（9/1～ 毎月第1・3金曜日）</li> <li>・定例のおはなし会再開（6/3～ 毎週土日）</li> <li>・夏休み行事として大学生によるおはなし会を実施（3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えほんのひろばは、引き続き市町村と連携して開催できた。また、多言語えほんのひろばでは、昨年度と異なり、当該市町村内の国際交流団体等と連携を行ったため、地域での連携が進んだ。</li> <li>・コロナが5類に移行してから状況を見た上で、おはなし会を徐々に再開。土日は6月から、乳幼児向けおはなし会「たんぼぼ」は9月から再開したが、定例のおはなし会のうち水曜日のおはなし会は子どもの来館者が少ないため、再開できていない。再開したおはなし会は少しずつ参加者が増えてきている印象。</li> <li>・子ども読書の日にもおはなし会を準備していたが、予定時間に子どもの来館者がおらず実施できなかった。来館時間には波があり、滞在時間も短い傾向にあるため、参加が少ない、もしくは見込めない事態が生じている。</li> </ul>		
		小中高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書イベント</li> <li>・SNSやミニコミ誌等を活用した読書活動啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作家が学校園等を訪問する大阪府オーサービジット事業を実施（府費開催（幼保・小・中・高・支援・フリースクール・矯正施設・児童自立支援施設）計12回）</li> <li>・大阪府中高生ビブリオバトル大会を開催</li> <li>・本のPOPづくりコンクールの開催（中・高）（7月～9月頃）</li> <li>・府立中央図書館にて、学校等からの見学受入、スクールサービスデイを実施</li> <li>・高校生のための図書館講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作家が学校園等を訪問する大阪府オーサービジット事業を実施（府費開催（幼保・小・中・高・支援・フリースクール・矯正施設・児童自立支援施設）計12回）</li> <li>・大阪府中高生ビブリオバトル大会を開催</li> <li>・本のPOPづくりコンクールの開催（中・高）（7月～9月頃）</li> <li>・府立中央図書館にて、学校等からの見学受入、スクールサービスデイを実施</li> <li>・高校生のための図書館講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーサービジット事業を開催（府負担：12回、実費負担：20回）</li> <li>・ビブリオバトル大会を開催（高：12/17 中：1/14予定）</li> <li>・POPづくりコンクールを開催（応募総数984作品）</li> <li>・図書館見学受入（22件）、スクールサービスデイ（3件）※いずれも11月末時点</li> <li>・高校生のための図書館講座りぶこの開催（1回）※11月末時点。3月まであと2回予定あり。</li> <li>・サンケイリビング小学生新聞（夏1回・春1回（予定））</li> <li>・ティーンズアスリートプレス（年度内1回予定）</li> <li>・X（旧Twitter）やInstagramで中高生向け図書資料の紹介（11月末時点 X：31回 Instagram：80回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーサービジット事業の応募数は、12校の枠に対して114校あり、需要が高い。</li> <li>・施設見学では、探求学習に特化した利用をする学校もあり、好評であった。</li> <li>・高校生のための図書館講座りぶこは、特定の学校からは定期的に申込みがあるが、それ以外の利用が少ない。</li> <li>・直接全ての子どもに届くミニコミ誌やSNSの活用により、読書啓発を図ることができた。特に、Xの図書資料紹介では、概ね毎回「いいね」が100以上、表示回数が6,000回以上ある。11月末時点で、7/21の投稿で「いいね」が262、6/9の投稿で表示回数が1.9万回となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、普段本を読まない子どもも含めて巻き込むような読書関連イベントや読書活動啓発を企画、開催する。</li> <li>・施設見学や高校生の図書館講座については、実施例を公表するなどして、学校等が実施のイメージをつかみややすくする。</li> </ul>	
		全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども読書の日」「こどもの読書週間」におけるイベント</li> <li>・OSAKA PAGE ONE</li> <li>・読書活動普及啓発広報物の作成</li> <li>・「こころの再生」府民運動と連携した読書活動の普及・啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書の日（こどもの読書週間）の趣旨に沿った事業を実施（4月23日～5月12日）</li> <li>・民間事業者等との連携や、庁内放送により、子ども読書の日の周知・啓発を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者と連携し、お菓手に絵本が読めるQRコード及びOSAKA PAGE ONEのロゴを掲載</li> <li>・OSAKA PAGE ONEのパナーを作成し、市町村・民間事業者等へHP掲載依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンケイリビング小学生新聞（公立小4～6年生に配布）にて読書手法などの紹介記事を掲載（夏・春計2回）</li> <li>・ティーンズアスリートプレス（中高に配布）にてスポーツ選手による本紹介を掲載（冬・春計2回）</li> <li>・twitterやInstagram等を活用した中高生向け図書資料の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業と協力のうえ、企業が発行するチラシを活用し、「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」の周知及び子ども読書活動啓発を実施</li> <li>・大阪府庁構内放送を活用し、「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」の周知と啓発を実施</li> <li>・「子ども読書の日」関連イベントを実施（工作イベント等）</li> <li>・民間事業者と協力のうえ、令和4年度から引き続き「コアンガレットリンク」にQRコード及びOSAKA PAGE ONEのロゴを掲載</li> <li>・協力民間事業者HP及び府立中央図書館HPにて、OSAKA PAGE ONEのパナーを掲載</li> <li>・サンケイリビング小学生新聞（夏・春）の記事提供協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業と連携することにより、多様な広告媒体で事業の周知、読書の重要性を啓発することができた。</li> <li>・公民連携事業（お菓子事業）の実施により、子どもが本に触れる機会を増やすとともに、広く府民へ子ども読書活動推進の重要性を周知することができた。</li> </ul>	
2	乳幼児の時期の保護者や教育保育施設への読書活動支援	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタートなど、家庭や地域における読み聞かせ活動の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新子育て支援交付金」の活用について会議にて市町村へ周知</li> <li>・民間事業者の協力を得て乳幼児期のお勧め本リーフレットを作成し、市町村立図書館、保健所へ配布（5万部）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回、第2回市町村社会教育主管課長会議にて周知</li> <li>・市町村立図書館や保健所へリーフレットを配布し、ブックスタート等で活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金を活用してブックスタート事業等を実施する市町村が15団体あり、読書活動支援の一助となっている。</li> <li>・リーフレット作成に協力いただいている事業者と、協力継続について毎年協議しており、リーフレットの作成に困難が生じる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット作成に協力いただいている事業者に、協力継続を要請する。</li> </ul>		
3	中高生が読書への興味・関心を高めるためのインターネットを活用した取組	中高生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府公式Twitter「さあ、本を読もう！」</li> <li>・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信等</li> <li>・オーサービジット事業（中高生向け）の動画配信等</li> <li>・「YA！YA！YA！べんりやん図書館」の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日に府公式Twitterにて主に中高生に向けた本を紹介</li> <li>・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信を実施（12月以降）</li> <li>・オーサービジット事業（中高生向け）の動画配信を実施（2月以降）</li> <li>・Instagramによる情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Xにて本の紹介を継続（11月末時点：31回配信）</li> <li>・年度内に作成予定</li> <li>・年度内に作成予定</li> <li>・フォロー—653件（11月末時点）</li> <li>・毎週2～4回、資料紹介及び過去のPOP広場応募作品からのPOP紹介等を発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Xによる本の紹介では、継続した読者もあり、11月末時点で、1冊の紹介でリツイートは最多67回、いいねは最多261回された。</li> <li>・Instagramのフォローが増加し、事業の紹介において一定の効果が見られる。</li> <li>・動画配信等においては、経験が少ないため、いかに効果的に配信できるかが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・XやInstagramでの本の紹介を継続して実施する。</li> </ul>		



A		B		C	D	E	F	G
重点的な施策		具体的方策		第1回社会教育委員会議	実績	子ども読書活動推進会議		第2回社会教育委員会議
		発達段階	主な内容	令和5年度 事業実施計画		成果・課題（自己分析）	改善	ご意見
4	支援が必要な子どもへの読書環境づくり	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>えほんのひろばや読み聞かせなど、支援が必要な子どもの状況に応じた本との出会いを提供</li> <li>障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもに対する読み聞かせ活動の支援</li> <li>子どもの読書活動に関わる支援者に対する研修や講演等</li> <li>特別貸出用図書セットの充実及び協力貸出</li> <li>図書館利用に困難がある子どもやその保護者に対するサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「多言語読書活動推進事業」を実施</li> <li>外国語保護者向け絵本紹介リーフレットを配布</li> <li>多言語えほんのひろば及び読み聞かせイベントを実施</li> <li>大学との連携による多言語読み聞かせ動画を周知</li> <li>府立中央図書館において、手話でのおはなし会を実施</li> <li>府立中央図書館において、支援学校への出前おはなし会を実施</li> <li>視覚支援学校において、サビ工図書館を活用</li> <li>多言語えほんのひろばを開催するための手引きを作成・周知</li> <li>府立中央図書館において、府内市町村立図書館に対して、支援が必要な子どもへの読書環境づくりに関する実態調査を実施</li> <li>府立中央図書館において、支援が必要な子どもの読書活動の現状や課題・方策について、研修や講演等を実施</li> <li>多言語で書かれた本、誰もが楽しめる文字なし絵本等の貸出セットを充実し、学校や教育保育施設、ボランティア等の団体に貸出しを実施</li> <li>郵送貸出や、アプリケーション・ソフトを利用した対面朗読サービス等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語版保護者向け絵本紹介リーフレットの作成、配布（韓国朝鮮語、中国語、ベトナム語、フィリピン語、英語、（以降今年度作成）ポルトガル語、スペイン語、ネパール語、インドネシア語、ヒンディー語）</li> <li>多言語版えほんのひろばを開催（府内3箇所で開催）</li> <li>大学との連携による読み聞かせ動画を連絡会等で周知</li> <li>手話でのおはなし会を実施（9/9～毎月第2・4土曜日）</li> <li>支援学校への出前おはなし会を実施（全7回予定）</li> <li>視覚支援学校にてサビ工図書館を活用</li> <li>多言語えほんのひろばの手引を年度内に作成予定</li> <li>実態調査を年度内に実施予定（12月配布予定）</li> <li>読書活動推進支援員養成講座を実施（2回）</li> <li>公立図書館と学校との合同研修「ICT機器と学びの支援～教育の機会均等と図書館活用～」を実施</li> <li>図書館所蔵多言語資料の学校向け広報チラシ作成及び学校関係者の研修で配布等活用中</li> <li>音の出る絵本、スペイン語絵本、スペイン語読物を各1セット用意</li> <li>朝の読書用セットYA（中高生）用 2セット用意</li> <li>性教育、戦争・平和、SDGsセット（予定含む）用意</li> <li>矯正施設よりリクエストのあった武士・歴史小説セットを用意</li> <li>特別貸出用図書のべ49セット貸出、アジア絵本のべ1セット貸出</li> <li>図書館利用に困難のある子どもに対して郵送貸出等を実施（実績27件45点）11月末時点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語読書活動推進事業では、一定の言語のリーフレットやえほんのひろば用図書を準備できた。今後は、市町村が主体となって多言語えほんのひろばを開催できるよう支援が必要。</li> <li>手話でのおはなし会を9月から再開。11月末時点で8回開催し、子ども38人、大人26人が参加した。</li> <li>支援学校への出前おはなし会は、東大阪支援学校へ各学期ごとに1回計3回、中央聴覚支援学校へは小学部各学期ごとに1回計3回、今年度は幼稚部でも1回実施。</li> <li>多言語絵本等外国語資料の入手自体が言語によっては難しい。また、価格の高騰などの影響があり、入手できる冊数にも限界がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語読書活動について、各市町村が主体となり取組を実施できるよう、積極的な支援を行っていく。</li> </ul>	
			子どもに本を届けるネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児 <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアとの連携支援</li> <li>特別貸出用図書セット（絵本）の貸出</li> </ul> </li> <li>小中高 <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアと学校の連携支援</li> <li>特別貸出用図書セット（朝読・調べ学習等）の貸出</li> <li>学校図書館（「学習」「情報」「読書」センター機能）の活用促進</li> </ul> </li> <li>全体 <ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成</li> <li>読書活動支援者に対する読書関連講演や好事例の紹介</li> <li>おすすめ本紹介冊子の作成</li> <li>特別貸出用図書セットの貸出</li> <li>ネットワークづくりの強化</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府内で活動されている読書ボランティアの情報収集を行い、教育保育施設等に対して、読み聞かせボランティアを一覧にして紹介・周知</li> <li>特別貸出用図書セット（絵本）を貸出</li> <li>府内市町村に対し、状況に応じてボランティアとの連携を進めるよう助言</li> <li>特別貸出用図書セット（朝読・調べ学習等）を貸出</li> <li>読書活動フォーラム、学校図書館担当指導主事会を実施</li> <li>学校図書館を活用した授業づくりモデル校に対する研修支援</li> <li>学校図書館を活用した授業づくりモデル校の取組みの普及、発信</li> <li>大阪府子ども読書活動推進ネットワークフォーラムを開催</li> <li>小学校読書活動推進研修を実施</li> <li>学校図書館担当指導主事会を実施</li> <li>児童サービス担当者連絡会を実施</li> <li>司書セミナーを実施</li> <li>ボランティア養成講座等を実施</li> <li>府内の図書館職員等のスキルアップに役立つ講座等を実施</li> <li>府立中央図書館において、「新刊紹介」講座を実施</li> <li>「だっこでよんで」「よんでよんで」「ほんだな」等を作成</li> <li>図書館未設置自治体公民館図書室、地域型保育病院内患者図書室、児童福祉施設、矯正施設等への貸出支援を実施</li> <li>学校図書館協議会（SLA）との連携（情報共有等）</li> <li>府教育庁からの府内公立図書館への情報発信</li> <li>教育コミュニティづくりに関わる団体等への子ども読書活動推進に関する情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度内に情報収集、周知を予定</li> <li>貸出を実施（19セット）</li> <li>令和5年度市町村教育委員会に対する指導・助言事項にて助言</li> <li>貸出を実施（のべ11校、23セット）</li> <li>学校図書館担当指導主事会を実施（1回）</li> <li>フォーラムにて、モデル校事例発表（予定）</li> <li>モデル校への有識者派遣を実施</li> <li>モデル校の取組み内容がわかる資料を作成し、事例を共有</li> <li>ネットワークフォーラムを1/25に開催予定</li> <li>小学校読書活動推進研修の実施（1回）</li> <li>学校図書館担当指導主事会を実施（1回）</li> <li>児童サービス担当者連絡会を実施予定（3月）</li> <li>司書セミナーの実施（5回 ※全日でリアルタイム配信）</li> <li>ボランティア養成講座の実施（支援員養成講座2回）</li> <li>図書館職員等のスキルアップに役立つ講座を実施（合同研修3回、うち録画配信2回）</li> <li>「新刊紹介」講座の実施（会場141人、配信834人）</li> <li>ほんだな2023の発行（6月）</li> <li>児童福祉施設1、矯正施設2へ特別貸出用図書セットを貸出（のべ40セット）</li> <li>学校図書館協議会（SLA）に府教育庁が実施する事業等を周知予定</li> <li>教育コミュニティメールマガジンにて読書活動推進に関する情報発信予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度より利用増。引き続き利用PRに努める。</li> <li>モデル校における取組内容のわかる資料が一層充実し、事例をより共有できた。また、「大阪府情報活用能力ステップシート」を作成しており、子どもが学校図書館活用スキルを体系的に身につけるためのステップを示す予定。</li> <li>各連絡会や研修会、講座では、複数の課が連携して開催し、多面的な発信をすることができた。</li> <li>司書セミナーではリアルタイム配信を活用し、来館せずとも参加しやすい環境を整えている。</li> <li>新刊紹介は会場講演と後日配信が定着してきた。</li> <li>「ほんだな」を夏休み前に毎年発行</li> <li>図書の貸出により、児童福祉施設や矯正施設における読書環境の充実を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、研修等については、集合、オンライン、録画配信などの手法を検討し、より効果的に開催できるようにしていく。</li> </ul>
6	子どもの読書活動を進めるための組織の設置	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども読書活動推進会議を設置し、毎年後事業計画の内容を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども読書活動の推進に取り組む関係各課（小中学校課・高等学校課・支援教育課・中央図書館・地域教育振興課）による子ども読書活動推進会議を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議を2回開催し、年度の事業実施計画策定や意見交換に加え、第4次計画における現状と課題について協議を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的な計画策定に向けて、引き続き協議内容の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期計画策定に向けて、現計画の成果や課題について協議を行う。</li> </ul>	
7	電子書籍の活用検討	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍の活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府立中央図書館において、電子書籍の活用に関する情報収集及び府内市町村図書館との情報共有並びに無料コンテンツを紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍貸出サービスの導入状況について府域市町村図書館へのアンケートを実施予定（12月、R年度からの継続調査）</li> <li>紙・電子媒体資料統合提供調査チームによる報告書を『大阪府立図書館紀要』に掲載予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>府域内市町村の電子書籍の情報が収集できた。</li> <li>電子媒体資料についての調査結果をまとめた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館において、紙資料の電子化を含めて、電子媒体資料の取り扱いについての検討を続けていく。</li> </ul>	

（4）令和5年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこともあり、概ね7つの重点的な施策に掲げる、具体的な方策に沿った事業を実施することができた。</li> <li>○図書館では子どもの来館者数に波があったり、滞在時間が短い傾向があり、新型コロナウイルス感染症流行後の変化が懸念される。一方で、研修や講座についてオンラインで配信を行うなど、新たな方法での取組も定着してきている。生活様式の変化やICT技術の革新等に対応していく必要がある。</li> <li>○計画期間の折り返しを迎え、子ども読書活動推進会議でも現状や課題の確認を行うことができた。課題としては、不読率の改善に向けて「就学前の子ども保護者へのアプローチ」や「本に興味のない子どもにどのようにして本と触れ合ってもらおうか」等への取組の困難さが挙げられた。</li> <li>○多言語読書活動推進事業について、多言語えほんのひろばは、共催する市町村が地域の国際交流団体等と連携して開催し、共催市町村が次年度以降に単独で開催できる繋がりを作るとともに、イベント開催の経験がない市町村に向けた開催の手引を作成予定。また、絵本紹介リーフレットは5言語追加で作成し、計10言語となった。</li> </ul>	